

情報提供日：令和8年8月20日

昭和56年の小貝川決壊から45年 市民一人ひとりが災害への備えを考える
市民防災の日 企画展「龍ヶ崎市 防災・減災の歩み」
－市民の力が紡ぐ龍ヶ崎の防災力－を開催(8/20～9/1)

龍ヶ崎市では、「市民防災の日(8/24)」に合わせ、企画展「龍ヶ崎市 防災・減災の歩み」－市民の力が紡ぐ龍ヶ崎の防災力－を本日から令和8年9月1日(火)まで龍ヶ崎市役所本庁舎1階ホールにて開催しています。

本展示は、過去の災害対応の記録や教訓を振り返り、日頃からの備えや地域での助け合いの大切さを考えるために企画。会場では、いまから**45年前に発生した小貝川決壊(昭和56年8月24日)**をはじめ、本市で過去に発生した災害の記録を当時の写真や資料、市民の証言等を紹介しています。



さらに、能登半島地震など他の地域で発生した災害時の被災地支援の記録写真なども紹介。

その他にも本市が保有している水循環型シャワーテントセットなどの資機材も展示をすることで、本市の防災への備えを知ってもらえる工夫を凝らしました。

また、市内住民自治組織が行う防災訓練や災害時協力井戸制度なども紹介することで「自助・共助」を考えてもらうきっかけに繋がりたいと考えています。

本企画展を通じて過去の災害を風化させず、その経験と教訓を未来につなげるとともに、市民一人ひとりが災害への備えや助け合いについて考える機会を創出するものです。

報道機関の皆さまには、企画展の取材方賜りますようお願いいたします。

■日 時	令和8年8月20日(木)～9月1日(火)午前9時～午後5時(※)閉庁日を除く
■場 所	龍ヶ崎市役所 本庁舎1階ホール(所在地：茨城県龍ヶ崎市3710番地)
■展示内容	〈パネル展示〉 ・昭和56年8月24日小貝川決壊時の記録及び「市民防災の日」制定 ・東日本大震災の被害や市民の証言 ・牛久沼越水(令和5年6月)被害状況写真や、その後導入した止水板などの資機材の紹介 ・能登半島地震における本市の給水支援及び活動状況、その後導入したトイレトラック、シャワーテントの紹介 〈展示〉 ・水循環型シャワーテント「WOTA」(令和8年熊本地震被災地支援品同モデル) ・「感震ブレーカー」デモ機 ※「感震ブレーカー」デモ機の展示は8月25日(火)正午まで

担当課

龍ヶ崎市 総務部 防災安全課 防災対策グループ
 担当者：鎌田・田中(かまた・たなか) 連絡先：0297-60-1514(直通)